

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているの、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きに加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021 年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げに暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://www.theguardian.com/world/2025/jun/19/israels-attack-has-exposed-irans-lack-of-firepower-but-conflict-could-yet-turn-in-tehrans-favour>

<https://www.bbc.com/news/articles/cjel350eyw5o>

https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250620_05/

<https://www.bbc.com/news/articles/c4g8r8rj87vo>

<https://www.independent.co.uk/news/world/middle-east/israel-iran-conflict-timeline-attacks-b2770765.html>

<https://www.theguardian.com/us-news/2025/jun/18/trump-republicans-iran-conflict>

https://www.politico.eu/article/donald-trump-vladimir-putin-mediate-israel-iran-conflict-us-russia-benjamin-netanyahu/?utm_source=chatgpt.com

https://www.newindianexpress.com/world/2025/Jun/19/trump-rebuffs-putin-offer-to-mediate-iran-israel-truce?utm_source=chatgpt.com

動画

WION(インドのニュースチャンネル) <https://www.youtube.com/watch?v=nE7MwncoR6Q>

Times Radio <https://www.youtube.com/watch?v=TVVrAefE3ig>

1 ページ

Q1 Israel bombed military sites in Iran, and Iran responded by firing missiles at Israel.

Q2 No, they are not next to each other. ☒ イランとイスラエルの場所を確認して下さい。

Q3 (1) 1979 年 (2) イラン革命 (Iranian Revolution)

Q4 (1) イランはイスラム国家になった ※イランは 1979 年イラン革命以降、王政(国王=シャーによる世俗国家)から、シーア派イスラム法に基づくイスラム共和国へと移行しました。

(2) イランは「イスラエルは本当の国ではない」と言った。

※イラン革命以降、イランはイスラエルを国家として認めていません。理由は、

①イランは、イスラエルがパレスチナを解放することを望んでいる

②イスラエルはアメリカと関係が強い。イランには反米感情がある ……などがあります。

Q5 Because Jerusalem is a holy city for Jews, Christians, and Muslims. (エルサレムは3つの宗教の聖地だから)

参考: https://israeru.jp/travel/jerusalem_sanctuary/

★2023年11月第1週の高校生ニュース教材「ユダヤ民族の歴史」でエルサレムの事情について、詳しく解説しました。興味のある生徒さんはそちらも読んで下さい。
バックナンバー ウェブページ https://yuki-tsubaki-news.com/high_back_number/

Q6 (1) ユダヤ教徒が多い (2) イスラム教徒(シーア派)が多い

Q7 Hezbollah, Hamas

Q8 解答例

★Because Iran supports Hezbollah and Hamas(Israel's enemies).

★Because Iran gives Hezbollah and Hamas weapons or money. など

★2024年10月第2週の高校生ニュース教材「ヒズボラとイスラエルの戦争」でヒズボラについて、詳しく解説しました。興味のある生徒さんはそちらも読んで下さい。
バックナンバー ウェブページ https://yuki-tsubaki-news.com/high_back_number/

Q9 「停戦の仲介をしたい」と申し出た/Putin wanted to help stop the war.

Q10 Trump told Putin, "End your war in Ukraine first."

2 ページ

Q11 On June 21, the U.S. attacked Iran's nuclear sites, and Trump said the attacks were successful.

★ここでの「核施設」(nuclear sites)とは何でしょうか？

世界の核保有国は9か国——国連の常任理事国である英・米・中・露・仏と、インド、パキスタン、北朝鮮、イスラエル——です。イランは含まれていません。

では、この“nuclear sites”とは、原子力発電所を指すのでしょうか？

私自身、理解が曖昧だったところ、調べてみました。結論から言うと、

- ① アメリカに爆撃された3か所の施設は「**ウラン濃縮施設**」で、発電目的ではなく、核燃料を加工する研究・軍事情報用途の施設(だから原子力発電所ではない) ※核兵器を作るには、ウラン濃縮が必要です。
- ② アメリカやイスラエルは、「イランが核兵器を開発をしているのでは？」と疑っている ……という現状のようです。

例えば、PBSの記事に

"Israel launched a surprise barrage of attacks on sites in Iran on June 13, which Israeli officials said was necessary to head off what they claimed was an imminent threat that Iran would build nuclear bombs."

(イスラエルは6月13日、イラン国内の複数の施設に奇襲行った。イスラエル当局は、イランが核爆弾を製造する差し迫った脅威があると主張し、それを防ぐために必要な攻撃だったと述べた。)

とあります。

 下記の PBS News の記事から引用しました。

[Bonus Quiz] ※英語というより社会のクイズです。

Q12 Iraq, Syria, Jordan are.

Q13 解答例（日本語で先生が解説してあげてください）

★These countries may face missile attacks.

★They will have economic problems.

★Syria and Iraq might be attacked(bombed) by Israel or Iran.

★The civil war in Syria ended in December 2024, and there are still many refugees in the country.

If Iran and Israel continue to fight, Syrian refugees might rush to neighboring countries such as Jordan, Lebanon, and Turkey.

Q14 B. Yu Darvish ※ダルビッシュは、イランでよく使われる名字だそうです。

https://forebears.io/surnames/darvish?utm_source=chatgpt.com

Q15. (自由記述・一例)

Yes, I agree. I think the war in Ukraine is very serious. Putin should stop the war first.

I think America should not join the war. Many Americans don't want more wars.

3 ページ

1) Before 2) After 3) between 4) On 5) with

1. for 2) as 3) by 4) next to 5) like 6) about 7) against

指導の手引き

★私の塾の小学生クラスには、「戦争」のニュースを取り上げるだけで涙ぐんでしまう、心の優しい子が何人かいます。彼らには「私たちは平和な日本に住んでいますが、世界のどこかでは戦争があります。戦争が早く終わるように祈りましょうね」と、彼らの不安を煽らないよう、穏やかに話すことを心がけました。涙ぐんでしまう子には、「とても優しくて良い子です」と保護者様にもお伝えするようにしています。

★今回のニュースに、中高生は深い関心を持っているようです。

私は塾で、(時々社会を教えていることもありますが) 英語を教える際、地理や歴史も一緒に学んでほしいと思っています。

★この教材で、イスラエルとイランがなぜ仲が悪いかは、ざっくりと説明しましたが、「なぜ、アメリカはイスラエルと仲が良く、イランと仲が悪いか」は、ほとんど説明しなかったので、補足させていただきます。

★アメリカがイスラエルと仲が良い理由

①第二次世界大戦後、ユダヤ人が多く住む国としてイスラエルが建国された時、アメリカは最初にその建国を認めた。というのは、**アメリカにはユダヤ人の移民が多い**から。

※ちなみに、ユダヤ人は学歴が高くて優秀でお金持ちが多い(ビル・ゲイツ、Google 創始者、Facebook 創始者など、名だたる起業家がユダヤ人)

②軍事的にも、アメリカはイスラエルにたくさんの武器やお金を提供している。

★アメリカがイランと仲が悪い理由

- ① 1979 年のイラン革命により、イランは反米国家になった。
- ② 革命後、イラン人がアメリカ大使館を占拠し、アメリカ人を人質にした事件があった。
- ② イランはシリアやロシアなど、アメリカの敵と仲が良い。

★アメリカの軍事介入により、イスラエルとイランの戦闘は 25 日に終結しました。

アメリカのイラン核施設爆撃には、次のようなトランプ大統領の計算（作戦）があったと、専門家たちは分析しているようです。

- ① イスラエルに「イランの核施設を爆撃したから、もう十分でしょう？」と思わせ、戦争をやめさせる
- ② イランには「メンツを守らせて」戦争をやめさせる
- ③ 戦争をすぐに終わらせ、アメリカ国内からも支持を得る

参考 YouTube 番組

<https://www.youtube.com/watch?v=TI7MWPkLs7Q>